

国民民主

KOKUMIN MINSHU PRESS

国民民主党 国民民主プレス 編集部

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-5-3 Nagatacho GRID 4F

TEL : 03-3593-6229 MAIL : info@new-kokumin.jp

HP : new-kokumin.jp ・通番号 定価1部200円 (税込み)

・年間購読料 1,000円 (送料含む) 隔月第4金曜日発行

最新情報は
ツイッターで
チェックできます



つくろう、
新しい答え。

特別号

埼玉県第14区総支部特集

令和3年10月発行

□連絡先: 国民民主党 埼玉県第14区総支部 〒341-0044 埼玉県三郷市戸ヶ崎3-347 Tel.048-948-2441 Fax.048-948-2071

鈴木よしひろさん (埼玉県第14区) 総支部長 は主張しまっせー!

これまでの政治の失敗を立て直す、新たな動きが必要です。



鈴木よしひろ

さん

前・衆議院議員

国民民主党埼玉県第14区総支部長

菅義偉内閣が総辞職し、10月4日、岸田文雄内閣がスタートしました。マスコミは新内閣の話題で持ち切りです。しかし、何が変わったのか。冷静に本質を見極めねばなりません。そこで埼玉県第14区総支部長の鈴木よしひろさんに今回の動きについてお聞きしました。

耳障りの良い言葉が 踊るだけ… 新総理の記者会見

第100代岸田文雄内閣が誕生し、10月4日夜、岸田新総理の記者会見が行われました。会見では、新しい資本主義の実現、成長と分配の

好循環、新時代共創内閣…と耳障りの良い言葉が踊ったとのこと。しかし、実態はどうでしょうか？
1996年の第82代橋本内閣あたりから日本経済はデフレと呼ばれ、いくつもの内閣がその対応に全力を挙げてきました。そして、安倍政権では、異次元金融緩和、

機動的な財政出動、成長戦略からなるアベノミクスを打ち出し(平成25年:日本再興戦略)、名目GDP成長率3%程度、実質GDP成長率2%程度の成長を目指すと宣言しました。

続く菅政権も令和3年6月の閣議決定で、ここでもまたデフレ脱却、名目GDP成長率3%程度、実質GDP成長率2%程度を超える成長を目指す、再び宣言しました。しかしながら、その目標を達成したという報告はありません。

25年以上、成果無し 失敗し続けている 政府のデフレ対策

アベノミクス期の景気回復は、71か月間に及び、雇用は改善しましたが、賃金が伸び悩むなど、実感に乏しく、実質GDP成長率2%を実現することはできていません。結局、25年経ってもデフレ脱却に成功せず、先進国で日本だけが、経済成長から取り残されているのです。

しかし、岸田総理、政府・自民党からは、この失敗の事実について、原因の説明や反省は聞こえません。それも無しに、岸田総理が、威勢の良い言葉だけを並べても私たちの心に響きません。真摯な検証が必要です。

私たち国民民主党では「積極財政」への転換、「給料がある経済」実現を目指すといった、自民党政権が達成できなかったデフレへの対策に重点を置いた政策を発表しています。(裏面参照)



新三郷駅にて朝の駅頭活動

経済政策を積極財政に転換し、需要が供給を上回る状態にすることで消費や投資を活性化し、健全に賃金が上昇する「高圧経済」を進め、国内消費を喚起します。コロナが収束し、経済が回復するまでの間、10%から5%への消費税減税も訴えます。これは既得権益にしばられて硬直的な自民党には出来ません。今後もこの実現を強く訴えてまいります。

また、菅政権は、日本学术会议の任命拒否問題を皮切りに、コロナ感染拡大の中で批判を浴びた「GOTOラベル」、東京五輪・パラリンピックの開催など、国民の

〈裏面に続く〉

国民民主党重点政策

1. 「積極財政」に転換

- 一律10万円現金給付 ■事業者の固定費補償(最大9割) ■消費税減税(10%から5%へ)

2. 「給料が上がる経済」を実現

- デジタル化、カーボンニュートラルへ積極投資
- 日本型ベーシックインカム創設
- 中小企業を支援し、最低賃金引き上げ
- 中小企業の社会保険料負担半減

3. 「人づくり」こそ国づくり

- 教育の無償化(3歳から義務教育など)
- 児童手当一律月額15,000円(18歳まで)
- 教育国債創設(教育・科学技術予算倍増)

4. 国民と国土を「危機から守る」

- 農業者戸別所得補償制度の復活・環境加算導入
- 防災インフラ整備、東京一極集中是正、主権を守る態勢の強化

5. 「正直な政治」をつらぬく…。

- 公文書改ざん厳罰化
- 被選挙権年齢引き下げ(衆院18歳、参院25歳)
- 女性の政治参加推進

詳しくはこちらをご覧ください new-kokumin.jp

しかし、自身も6年前に金銭授受疑惑を報じられている自民党の甘利幹事長は、3日のテレビ番組で、総裁や幹事長の関与も取り沙汰されるこの1億

国民の疑念に答えない。
新政権も同じ…。

疑問に対しても自らの言葉で説明もせず、また、2019年参院選広島選挙区の河井案里氏陣営に自民党が投入した1億5千万円が買収の原資だったとの疑いにも明確な回答を行いませんでした。これが「国会軽視」「説明不足」「質問に答えない」と国民からの疑念や不信を招きました。そこを察知した岸田新総理は、総裁選で「信頼の回復」を掲げ、4日の記者会見で「信頼と共感の政治」、初閣議で「国民の声を丁寧に聞く…」と言っています。

日本は先進国でなくなる？
先送りの自民党ではダメ！

先進諸国の中で日本だけが、経済力

5千万円について「再調査の考えはない」と否定。岸田新内閣は、派閥優先、安倍元総理の影もちらつき、信頼回復に消極的など露呈しました。変わらない自民党に「またか」の思いをしたのは私だけでは無いと思います。政治家は国民からの信頼が基本です。それがあってはじめて政策を実現するための権力が担保されるのです。振り返れば私が約22年前、埼玉県議会議員として立候補する際、「合い言葉は信頼」をスローガンに出馬し、政治家の道を歩み出しました。その思いは今も私の基本であり、信念です。今の政権は国民からの信頼を得る努力をしているとは見えません。



朝の駅頭活動(左:吉川駅、右:吉川美南駅)

が落ち、先進国の座から滑り落ち始めています。少子高齢化で社会保障崩壊の恐れが指摘されています。行政のデジタル化の遅れ、ワクチン開発や治療薬の開発の遅さなど、コロナ禍で政府の不作為の現状も明らかになりました。日本の将来にかかわる多くの問題が先送りされています。昔の英国の歴史家による「絶対的な権力は絶対的に腐敗する」という有名な言葉のように、自民党一強の状況が、政権の奢りや民意の軽視を招き、既得権益を守り、必要な改革を怠ってしまいました。日本には自民党に対峙できる政策提案型の改革中道政党が必要です。自民党一強の打破が緊張感ある政治を導き、改革を進めます。私はこの大いなる使命感をもとに、保守系改革派として活動を進め、日本を立て直すために邁進していく決意です。(10月5日談)

前衆議院議員 鈴木よしひろ・埼玉県第14区総支部長 経歴

昭和37年、三郷市戸ヶ崎生まれ ■三郷市立吹上小～栄中学～日本大学第一高校～日本大学理工学部卒 ■参議院議員・(故)土屋義彦秘書～平成11年、埼玉県議会議員初当選(4期)、自民党埼玉県連青年部長等を歴任 ■(社)越谷法人会青年部役員、市内小学校PTA顧問、県立三郷高校PTA・後援会顧問、(社)三郷青年会議所OB会会員(第19代理事長)、三郷市スポーツ少年団顧問、三郷リトルシニア

チーム会長、三郷市サッカー協会会長、三郷市囲碁将棋連盟顧問、(一社)埼玉県パタンク・ブール連盟顧問、日本大学校友会埼玉支部顧問等を歴任 ■平成24年12月衆議院議員初当選 ■平成26年12月衆議院2期目当選 ■平成29年10月衆議院選挙で62,733票を戴くも苦杯、現在、国民民主党埼玉県第14区総支部長に就任、活発に政治活動中

連絡先 埼玉県三郷市戸ヶ崎3-347 〒341-0044 Tel.048(948)2441 Fax.048(948)2071 E-mail:officeszk@yosshisuzuki.com

新型コロナウイルス
関係サイト 情報は日々、更新されます。
最新情報をご確認下さい

首相官邸



埼玉県



Webで情報発信中!
鈴木よしひろさん公式ホームページ
www.yosshisuzuki.com



facebook もご覧ください。
よろしかったら友達申請も
お願い致します。

鈴木よしひろ [公式] が
LINEアカウントに登場!



登録は左QRコードより
お願いいたします。
友だち追加されます。